

校友會會報

Morinomiya College Of Medical Arts And Sciences
Morinomiya University Of Medical Sciences

NO. 2

2008 Mar. | 3月号

編集発行責任者 浜田 暁

❖ Special Topics

寄付金募集についてご挨拶P2

森ノ宮医療学園理事長 森俊豪・森ノ宮医療大学学長 廣橋賢次

寄付申込者ご芳名掲載 P15

❖ Interview of the graduate

治療と癒しのコラボレーションをめざして

米澤伸子先生.....P8



❖ Special TopicsP3

森ノ宮医療大学知事賞受賞
池田久美子選手特別講演

❖校友会情報P5

中国地区で初交流会
大学校旗贈呈
校友会から

❖ News & Event Report

.....P10

森ノ宮医療大学

第1回大学祭
図書館この1年
サークル報告
コスモス治療院から
20年度入試情報
バリアフリー 2008 ほか

森ノ宮医療学園専門学校

第33回卒業式・表彰者リスト
長野県先生受賞
アドバンスコース中国実習
学園祭
柔整卒後研修会論文集 No.2
柔整学術集会開催
第29回学術大会発表
就職・求人
20年度入試 ほか

❖ Information.....P14

治療室におすすめ BOOK/CD
出版部
鍼灸室
訃報

❖平成18年度決算報告…P16

森ノ宮医療大学の 更なる発展をめざして

～寄付金募集について～

このたび、森ノ宮医療大学における教育研究活動の充実、施設設備拡充等のために寄付金を募りましたところ、早々に多くの方々からご支援を賜りました。募集期間の途中ではありますが、ここにご寄付いただきました皆様方に深く感謝の意を表します。（ご芳名は15頁に掲載）

開学から1年、地域医療を担う専門職医療人を育成する大学として教育・研究環境の整備に努めてまいりました。しかし、優秀な学生や気鋭の研究者を迎える中、その受け皿となる施設や教育・研究機材の拡充等、更なる環境整備が必要不可欠であると考えております。また文部科学省の大学設置基準においては、4年間の設置計画を明らかにし、それを確実に実行することが求められます。在学生や教職員の要望に応えつつ、設置計画に沿って文部科学省とも協議しながら魅力あふれる大学の完成に向けて邁進する所存です。

20年度の入試も滞りなく終え、今春、第2期生を迎えました。新年度も、大学の教育・研究環境や人材育成等の整備と拡充に向けての、事業計画をすすめてまいります。皆様方からのご厚志に深謝し、賜りましたご寄付は、教育と研究に資するべく有効に活用させていただきます。

森ノ宮医療学園・森ノ宮医療大学は今後一層、特色ある教育研究を行い、優れた指導的医療人の育成を図り、社会の期待に応えてまいりたいと存じます。そのためには、皆様方のご支援ご協力のもとに、継続的な環境整備をすすめていく必要があります。何卒募金の趣旨をご理解くださり、今後ともご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、ご寄付いただいた皆様方のご芳名は、今期募集終了後、銘板に刻み、大学構内にて末長く顕彰させていただきます。

学校法人森ノ宮医療学園 理事長 森俊豪
森ノ宮医療大学 学長 廣橋賢次

多くの校友会をはじめとする森ノ宮医療大学・森ノ宮医療学園専門学校の卒業生・在校生ならびに保護者、教職員、さらに本学園の事業にご理解いただける法人・団体の皆様方から貴重なご寄付により、平成20年2月29日現在で受け入れ額は2600万円に達しました。寄付金の第1期募集期間は平成21年3月31日までとなっております。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

森ノ宮医療大学法人室
寄付金担当：成田・西堀
☎ 06-6616-6911 FAX 06-6616-6912
Email:kifu@morinomiya-u.ac.jp

寄付金累計状況（平成20年2月29日現在）

寄付者区分	寄付金累計	
	件数	金額（円）
個 人	135	24,250,000
役 員	11	15,800,000
教職員	51	5,390,000
在校生(保護者)	21	340,000
卒業生	55	1,610,000
その他	5	1,110,000
法人・団体	9	1,750,000
合計		26,000,000

森ノ宮医療大学 第1回「おおさか優良緑化賞」 大阪府知事賞受賞

森ノ宮医療大学総務室参事 西堀文雄

森ノ宮医療大学は、森ノ宮医療学園校友会からの寄贈により実現することができました森ノ宮医療大学緑化事業が高く評価され、この度第1回「おおさか優良緑化賞」大阪府知事賞を受賞いたしました。

今回の賞は、大阪府自然環境保全条例等にもとづいて緑化がなされたもののうち、府内の都市環境の改善に貢献する緑化や建築物敷地内の魅力向上に資する緑化、さらに新たな緑化手法のモデルとなる事業に贈られるもので、森ノ宮医療大学のほか2施設に知事賞、6施設に選考委員会奨励賞が与えられました。

授賞式は2月15日(金)午後2時より大阪府立女性総合センター7階ホールにて行われ、まず今回の表彰について遠藤尚美審査副委員長より趣旨が述べられたのに続き、小河保之副知事より森俊豪理事長に大阪府知事賞が授与されました。

授賞理由としては、「人工的な環境にある施設ですが、緑化面積を最大限確保し、隣接する運河と遊歩道を景観にうまく取り入れ計画されています。前庭となる芝生広場が広い可視領域を確保し、建物が指標となり意匠性を高めると共に、白い外観は緑化された環境の緑視率を高め美しいコントラストを演出し、地域を代表する優れた景観エリアとなっています。(略)」と土



地空間デザインへの評価に加え、近年社会的に最重要課題の一つとして取り組みが求められている地球温暖化防止の観点から、本大学が日本一暑いといわれる大阪でヒートアイランド化防止、さらに社会に受け入れられる緑のあり方の優れた緑化モデルであると賞賛されたものです。最後に小河副知事からは今後益々の取り組みを奨励されました。

大学設置決定から開学までの限られた期間で、本大学の建築並びに周辺環境に苦心した関係者一同、心からこの受賞を嬉しく思うとともに、森ノ宮医療大学の専門とする医療の面はもとより、環境の面でも社会に益々貢献しつつ、コスモスクエアのシンボルとして愛されるよう尽力したいと考えています。



『産経新聞』2007年12月13日 朝刊



Special
lecture
07.11.4

池田久美子選手に 在校生ら140人が熱い視線

森ノ宮医療学園専門学校学生支援課 川鍋史一

11月4日(日)、日本陸上競技トップアスリートの1人、女子走り幅跳びで日本記録を持つ池田久美子選手が来校されました。

これは、専門学校鍼灸学科教員で、スポーツトレーナーとして国内外を舞台に活躍している松下美穂先生の「アスリートと共に歩む道」と題する特別講義にゲストとして招いたもので、近年、希望者が増加しているスポーツトレーナーについて在校生ならびに本校受験希望者に認識を新たにしてもらおうと学生支援課が中心となって企画しました。

参加者は専門学校・大学の在校生114名、求人先から13名、学校説明会参加者20名、計147名と、会場となった7階講堂は用意した座席がほぼ埋め尽くされる、という状態になりました。

参加した在校生からは「選手側の生の声が聞けてよかった」「トレーナーとして、『選手を教育する』という概念が今まで無かったが、そういう意識も必要であることがわかってよかった」「スポーツトレーナーという立場についての知識がなかったが、今回、興味本位（有名選手が傍で見られる）で参加した講義で、知ること



清水尚道先生（司会）・池田久美子選手・松下美穂先生（左より）

ができた」「トレーナーと選手の話が同時に聞ける機会はなかなかないので、よかった」「鍼灸の話をもっと聞きたかった」など、前向きな意見が聞かれました。

また当日は学校説明会、就職相談会の同時開催ということで、特別講義について学校説明会参加者や求人先にも告知したところ、問い合わせや質問が多く寄せられ、また当日も積極的に参加していただけるなど、学園の取り組みをPRするよい機会となりました。今後は卒業生の方々を含め、このようなイベントを年1回でも定期的実施するなど広報に力を入れていきたいと考えています。

鍼灸学科3年生（11月現在）とともに。
中央が池田久美子選手、右端は松下美穂先生



秋の彼岸の9月23～24日、中国地区で初めての交流会を行いました。

「臨床家を生み育てる」という大阪鍼灸時代から脈々と続いているその伝統は、私の所属する中国地区でも花が咲き、実を結んでおり、今回の交流会では、初日、広島県福山市ニューキャッスルホテルにおいて、私たち中国地区で鍼灸臨床に勤しんでいる校友会員のために、佐藤正人先生（6期昼間部卒・日本臨床鍼灸懇話会理事）が臨床講習を行ってくださいました。この講習会では「臨床の森ノ宮」を十分に醸し出せたことと思います。

ところで、従来は講習会の後、親睦観光ツアーとなるわけですが、今回は日程の都合上、尾道～鞆の観光を先立って行うこととなりました。尾道は志賀直哉、林芙美子、小津安二郎、小林和作、そして大林宣彦等が足跡を残している街です。ツアーはまず千光寺から尾道水道を眺め、林芙美子ゆかりの喫茶店でくつろぎ、尾道ラーメンに舌鼓。そして最後にクルージングで海からの眺めと瀬戸の船旅をしばし楽しみ、潮待ちの港、鞆へ。鞆では江戸時代、朝鮮通

信使をもてなし、浮き世の風景と詠われた対潮楼で、唄を歌っているような不思議な声音の住職から説明を聞き、あぶと別館で魚料理、鯛そうめんを堪能しました。鯛そうめんは鞆の名物で、故森 秀太郎名誉理事長が「もう一度食べたかった」と言われたものでした。

今回の交流会は、親睦を深めることはもちろんですが、鍼灸技術を深めることのできた充実した2日間となりました。



森ノ宮医療大学校旗を贈呈

1月6日（日）、ウェスティンホテル大阪（大阪・北区）で行われた森ノ宮医療学園新年会において、森ノ宮医療大学校旗が浜田暁校友会会長より廣橋賢次学長に贈呈されました。



大学開学後最初の新年会ということで、会場には日頃お世話になっている大学並びに専門学校の非常勤講師の先生方をはじめ、(株)ビケンテクノの皆様、教職員、総勢137名とこれまでになく多くの方々が出席され、着物姿も散見される華やかな雰囲気の中での贈呈式は、新しい出発を祝うにふさわしいイベントとなりました。

ところで今回はもう一つ、専門学校で柔道を教えていただいている笹田岩生先生の講道館柔道八段昇段のお祝いがあり、笹田先生ご夫妻にお祝いの言葉と共に花束が贈呈されました。また、森俊豪理事長（アルトサックス）・成田



真一（ギター）西田隆志（ドラム）両先生による新進ユニットによる演奏とともに竹下イキ子先生の舞い「柔」がこの晴れやかな席に華を添えていました。

校友会から

校友会総務 清水尚道

■平成19年度校友会代議員会報告

平成19年度森ノ宮医療学園校友会代議員会を平成19年11月3日に開催し、平成18年度の決算報告および平成19年度の事業計画案についての審議を行い、全員一致で承認されました。

昨年4月の森ノ宮医療大学開学を機に、校友会も森ノ宮医療学園校友会と名称変更して、新しいスタートを切りました。これからは会員の皆様をバックアップできるよう尽力していきたいと思っております。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらずご出席くださいました代議員の皆様にお礼申し上げます。

■19年度交流会に80名

恒例の校友会交流会を平成19年11月3日にハイアット・リージェンシー・オーサカ（大阪・住之江区）にて開催いたしました。

今回、交流会場となった同ホテルは森ノ宮医療大学コスモキャンパスより徒歩数分のため、まず大学キャンパス見学会を実施し、その後ホテルに移動して交流会となりました。交流会ではビンゴゲームあり、森俊豪理事長のサックス演奏ありと、和やかな雰囲気の中、食事とおしゃべりで旧交を温めていただきました。

来年度も交流会を実施する予定です。より多くの校友会員の皆様にお越しいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



第1回大学祭～森ノ港祭～開催！

森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科助教 三木屋良輔

去る平成19年10月27日・28日の2日間、森ノ宮医療大学コスモキャンパスでは、記念すべき第1回大学祭～森ノ港祭～を開催しました。

主なイベントとして27日には前夜祭、28日には模擬店、医療講演会、健康体力測定、お灸体験コーナー、軽音ライブ、セラピードッグショーなどを行いました。

前夜祭は学内のみでの実施とはいえ、近畿圏からよさこいサークルを招待し、本学学生、教員も踊りに参加して最高に盛り上がりました。



初めてのセラピードッグ

本祭の28日は天候に恵まれたおかげで近郊にお住まいの方々が来学され、健康体力測定だけでも参加者が150名を超え、健康・体力への意識の高さを感じました。

皆さんに施灸



大学祭の準備にあたっては、7月から学生を主体とした実行委員会が組織されました。当初は高校の文化祭とは違い自主性を求める大学祭のスタイルに学生が戸惑うことが多く、教員との話し合いも幾度となく行われたのですが、その中で学生が成長していく姿を肌で感じることができました。

広報活動ではパンフレット、ポスター、チラシを作成し地域に配布することで、改めて地域住民の方々に医療大学としての存在をアピールすることができました。

全体を通して、大学祭の当初の目的であった地域の方々との触れ合い、学生間交流、リーダーシップや協調性の育成などが、少しは達成できたのではないかと考えております。来年の大学祭はさらなる地域交流、学生育成の場となることを期待します。



1年を振り返って

森ノ宮医療大学附属図書館長 倉林 譲

森ノ宮医療大学も開学1年を経過しようとしています。図書館運営委員会では学生はもとより教職員の勉学・研究支援を第一義に、教職員・学生からの希望図書を購入することとし、20年4月時点で約4000冊を購入いたしました。さらに校友会員の皆様始め広く寄贈図書を募りましたところ、約3000冊をお贈りいただき、現在、総蔵書数は約7000冊、雑誌類では国内71誌、海外15誌、電子ジャーナル2種を収蔵するに至っております。

このように、図書館を充実させていくことができますのも皆様方のご理解ご協力あってこそと、改めてお礼を申し上げる次第です。

20年度は、引き続き蔵書の充実を図りつつ、さらに学生たちがより一層利用しやすい環境にするべく尽力していきたいと考えております。さし当たっては4月より開館時間を延長する予定です。今後ともご支援ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

☆多くの方々に貴重な書籍をご寄贈いただきました。

改めてお礼申し上げます。

【寄贈者ご芳名】

医道の日本社様／宮協和人様／日本鍼灸マッサージ新聞様
新名洋一様／日本理学療法士協会様／東洋はり医学会様
古野忠光様／三木謙様／杏雨書屋様
影井繁一様（鍼灸10期夜間部卒）／社会医学技術学院様
岡村二郎様／新聞英雄様／久保絹子様（鍼灸19期昼間部卒）
株式会社 新潮社様／日本良導絡自律神経学会様
保険鍼灸マッサージ協会様／宮島一彦様
浜田昭二様（研究科卒）／牧野光代様（鍼灸12期昼間部卒）
西崎佳代様（鍼灸30期昼間部卒）／日本刺絡学会様
藤本蓮風様／大八木敏弘様／織田隆三様

（平成19年4月～20年1月／順不同）

21年度大学入試・オープンキャンパス実施予定

【入試予定】

9/14 回	AO入試 ①
11/8 回	公募推薦入試 ① / 社会人入試 ①
12/14 回	公募推薦入試 ②
1/10 回	公募推薦入試 ③
2/1 回	一般入試 ①
2/22 回	一般入試 ② / AO入試 ② / 社会人入試 ②
3/15 回	一般入試 ③

【オープンキャンパス】

7/20 回・8/9 回・8/23 回・9/6 回
10/26 回（大学祭と同時開催）
12/20 回（クリスマスイベントあり）・1/24 回

※いずれも3月時点での予定です。変更することもありますので、ホームページでご確認ください。（広報室）

<http://www.morinomiya-u.ac.jp>

治療と癒しの コラボレーションをめざして

都心の一等地、ハイソなイメージをまとった街、東京・六本木。

“都心の上質な日常”をコンセプトに昨春オープンした東京ミッドタウンを眼前に、
米澤伸子先生の「リフレッシュボディ」があります。

室内に一歩足を踏み入ると、そこには周囲のざわめきとは隔絶した落ち着いた空間が広がっていました。
オープンして約半年、これから本格始動という米澤先生に話を伺いました。

米澤伸子先生

森ノ宮医療学園専門学校
第28期昼間部鍼灸学科卒業

少女時代は祖父から鍼治療を

私は高校生までテニス一筋のテニス少女だったので、肘や脚、腰のケガはもう日常茶飯事。実家は四国・香川で、祖父、父と鍼灸院を営んでいましたので、よく鍼や灸で治療してもらっていました。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、父も大阪鍼灸（現 森ノ宮医療学園）専門学校第7期卒業です。

「手に職」から鍼灸師を

高校2年生の時、1年間高校を休学してカナダに留学しました。田舎の地元の高校だったので大変でしたが、語学力は確実につきましたね。

帰国後1年遅れて高校を卒業したんですが、向こうの大学で勉強したくて、再びカナダに渡って2年間短大で商業ビジネスを勉強しました。で、就職ということになるんですが、現実には、英語ができて、少しビジネスの知識がある程度では非常に難しいわけです。それで手に職をと考えて、身近に感じていた鍼灸師を選んだんです。

鍼灸技術は父の治療院で習得

森ノ宮医療学園専門学校を卒業して2年間、香川の父の鍼灸院を手伝っていました。患者さんには申し訳なかったなあとありますが、実地で鍼灸のスキルアップをしたという感じ

ですね。診療は朝の8時半から始まるのですが、その前から患者さんは待ちかまえておられるんです。とくにおじいちゃん、おばあちゃん方にとって鍼灸は生活の一部、日課と言ってもいいくらいで、大体毎日60～80人くらいが来られます。皆さん気がよい方ばかりで少々痛くても文句は言われない。免許を取ったばかりの若葉マーク鍼灸師としては本当に勉強になりました。

自分らしさを追求したい

なぜ、香川から東京へ？とよく聞かれるんですが、実は母の実家が田園調布にあって、小さい頃から親しんでいたの、抵抗はまったくない

第33回卒業式 304 名が巣立ちました

学生支援科 川鍋史一

平成20年3月9日(日)、ようやく春めいた優しい日差しがさす中、33回目の卒業式をホテル大阪ベイタワー(大阪・弁天町)にて、無事終えることができました。

今年度は、鍼灸学科 151 名、柔道整復学科 153 名、計 304 名が、巣立っていきました。式典は午後2時より開始し、校歌斉唱、卒業証書授与、学校長式辞、各賞表彰式(右表参照)、ご来賓祝辞、送辞、答辞、卒業記念品贈呈までの全行程を2時間あまりで終了いたしました。

今回は、卒業を前に志半ばにして他界した2名、鍼灸学科 岡谷謙一さん、柔道整復学科 横山真由美さんには特別表彰として賞を授与し、本校で鍼灸師・柔道整復師を目指して研鑽を積んできたことに対して、その功績を全員で称えました。ご家族を壇上に迎えての表彰状授与の際には、会場内のあちらこちらからすすり泣く声とともに、いつまでも途切れることなく拍手が響き渡りました。改めてお二人のご冥福をお祈り申し上げます。

ところで毎年、珍事が起こる卒業証書授与や各賞表彰式では、壇上からの彼女への熱き思いの告白あり、「祝おめでとう」等と書かれた数本のたすきを順に全員でリレーするなど、今年も盛り上がりを見せてくれました。

式典の後は、同会場で卒業生による『謝恩会』が行われました。



岡谷さん、横山さんのご家族に特別表彰

昨年同様、鈴木絃先生のジャズバンドによる演奏をBGMに、卒業生の飛び入り参加のピアノ演奏あり、抽選会ありと、和やかなうちに彼らの3年間は終了しました。

長野 仁先生、人文科学研究協会賞受賞

森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師、はりきゅうミュージアム研究員の長野 仁先生が(財)人文科学研究会より「平成19年度人文科学研究協会賞」を受賞され、11月15日、京都大学人文科学研究所(京都市左京区)で授賞式及び記念講演が行われました。

長野先生はご自身の治療院で治療の傍ら本校を始め大学等で講義、さらに今回の受賞理由の1つとなった『針聞書』(九州国立博物館蔵)を始め治療に即した史資料の発掘・研究と日々尽力されています。その積み重ねが今回の受賞となりました。改めてお祝い申し上げます。



表彰者

柔道整復学科第6期

学校表彰

賞 名	クラス	氏 名
最優秀賞	昼間部	早瀬健吾
優秀賞	アドバンスコース	西川知也
	夜間部	多久島央佑
	アドバンスコース	畠山ゆかり
	アドバンスコース	宮崎真維
	昼間部	鈴木政欣
	昼間部	中村漢士
特別精励賞	昼間部	早瀬健吾
	昼間部	堀内完治
	夜間部	多久島央佑
	夜間部	前橋大介
	夜間部	峯岸 毅
	夜間部	湯谷 達
精励賞	昼間部	末吉 誠
	夜間部	大宮貴郎
	夜間部	名取浩二郎
	アドバンスコース	畠山ゆかり
	アドバンスコース	前田 達
努力賞	アドバンスコース	宮崎真維
	昼間部	杉山聡美
	夜間部	合田幸司
	夜間部	伊達謙太郎
	アドバンスコース	小泉雅規
	アドバンスコース	中野浩樹
みどりの風賞	アドバンスコース	中村憲夫
	昼間部	大和太介
	夜間部	久保一博
	夜間部	成宮裕斗
黒帯とったで賞	40 名	

団体及び業界からの表彰

賞 名	クラス	氏 名
専修学校名譽会長賞	昼間部	増谷安彦
専修学校教育振興会賞	夜間部	湯谷 達
	アドバンスコース	乾 百合
全国柔道整復学校協会賞	夜間部	植村浩平
日本柔道整復接骨医学会賞	昼間部	遠藤智子
日本柔道整復師会長賞	夜間部	後藤 進
大阪府柔道整復師会長賞	昼間部	阪田貴之
校友会長賞	アドバンスコース	奥住拓也

鍼灸学科第33期

学校表彰

賞 名	クラス	氏 名
最優秀賞	夜間部	北内麗子
優秀賞	アドバンスコース	名津井美香
	昼間部	東 俊行
	昼間部	乾 博紀
	昼間部	川原将史
	昼間部	新網郁子
	昼間部	田村康子
	昼間部	松波 賢
特別精励賞	昼間部	宮崎大介
	昼間部	山田 真
	夜間部	奥村和代
	夜間部	北内麗子
	夜間部	高橋賢一
	夜間部	田中 宇
	夜間部	松田美鶴
	アドバンスコース	小林郁生
	アドバンスコース	湘淵光一
精励賞	昼間部	中井一博
	昼間部	昌山まゆみ
	夜間部	塩見智佳
	夜間部	米山 奏
	アドバンスコース	石川 翔
	アドバンスコース	西川美枝子
努力賞	昼間部	乾 博紀
	昼間部	田村康子
	夜間部	境井好美
	夜間部	富田恵由
	アドバンスコース	松野公俊
みどりの風賞	昼間部	新網郁子
	夜間部	富田尚宏
	夜間部	吉澤利光

団体及び業界からの表彰

賞 名	クラス	氏 名
知事賞	アドバンスコース	小澤信貴子
専修学校名譽会長賞	昼間部	山田 真
専修学校教育振興会賞	夜間部	松田美鶴
東洋療法学校協会賞	昼間部	宮崎大介
日本鍼灸師会長賞	昼間部	名窪仁志
大阪府鍼灸師会長賞	夜間部	戸出幸子
全日本鍼灸マッサージ師会長賞	夜間部	別所由理
大阪府鍼灸マッサージ師会長賞	アドバンスコース	紀野江理
卒業研究賞	夜間部	小林英恵
校友会長賞	昼間部	松波 賢
全日本鍼灸学会会長賞	アドバンスコース	皆見秀和



鍼灸学科 2 年生アドバンスコース中国実習

鍼灸学科アドバンスコース 2 年生 羽入亜希子



キン先生の講義を皆熱心に聴く

去る11月21日～12月3日の13日間、広州中医薬大学付属病院（中国・広州市）での海外実習に参加しました。

病院では、午前中は主に鍼灸外来、推拿外来、病棟の見学を行い、午後は講義

を受け、また大学にて解剖実習を行いました。

鍼灸外来は診察室が10室以上あり、蜂鍼・火鍼・飛鍼それぞれを得意とする先生がスタッフとして在籍されており、リウマチや脳疾患後遺症等、さまざまな疾患に対して鍼灸治療を行っておられました。実際に火鍼や飛鍼を見学するのは今回が初めてで、本来の目的である治療効果はもちろんですが、その手技には芸術性さえも感じられ、日本では考えにくい手法に驚きました。小児においては、言語障害や発達の遅れている子供たちを対象に施術が行われ、その手技も日本の小児鍼とは全く違い、鍼を頭から足先まで数十本、大人同様に刺されているのは衝撃で、子供たちが泣き叫んでいる姿は目に焼き付いています。

病棟では主に中風（脳疾患）の後遺症の機能回復に鍼灸が用いられていて、患者さんは入院中ほぼ毎日治療を受けていました。

午後は、中国では「キン三鍼」で有名なキン先生の講義を始め、火鍼・腹鍼・SARSなど、いろいろな興味深い講義を聴くことができました。また解剖実習では、自

ら人体にメスを入れ、1日かけて解剖していく…日本ではまずできない経験で、とても勉強になりました。

中国では耳穴も治療の重要点と考え、疎泄作用のある不王留行の種を耳穴に貼ります。今回、耳穴の意味を知り、その伝統に感銘を受け、ぜひ活用しようと大量の不王留行を購入しました（中国では鍼灸関係が安価で購入できるのも魅力の一つです）。開業するまで芽が出ないというのですが。

今回の実習で中国の伝統医学を学び、日本とは全く違う手技・手法、また医療制度や患者さんの鍼灸に対する考え方など得られるものが大変多く、参加できて本当によかったと思います。引率していた

だいた先生方や通訳の方に心から感謝しています。私が鍼灸師になった時に、この貴重な体験を活かしていきたい、そしてチャンスがあればもう一度中国へ行きたいと思っています。



幼児への鍼治療



学園祭『森宮祭』でコミュニケーション！

学生会会長 辻涼太

去る11月3日文化の日、恒例となった森ノ宮医療学園専門学校学園祭『森宮祭』を、今年度も開催いたしました。

日頃から本学を温かく見ていただいています近隣にお住まいの皆様とのふれあいが、この学園祭のテーマなのですが、本学生・教職員による焼きそば・フランク



チョコバナナに舌鼓！

フルト・チョコバナナ等の各種模擬店、剣道部や合気道部の実技披露など趣向をこらしたイベントや、吉本の漫オコンビ「シャンプルーハット」と

「スパン」さんらのライブ等で楽しんでいただき、また、スキントッチ同好会による親子ス

キントッチ講習会にはお子さん連れで多くの方々が来校され、コミュニケーションを図れたかと思います。

また今回は7階講堂を使用できたため、騒音等のクレームもなく、テーマに沿った学園祭になったかと思います。

最後になりましたが、本学の学生並びに教職員・関係者の皆様のご協力と活気ある取り組みのおかげで、大きなハプニングもなく無事終了することができ、尽力いただいた皆様に『森宮祭』実行委員長として深く御礼申し上げます。



親子でスキントッチ

「森ノ宮柔道整復卒後研修会 論文集 No.2」発刊

森ノ宮柔道整復卒後研修会

「森ノ宮柔道整復卒後研修会」は、卒業生を中心とした会員発表や、講師の先生による講演を通して技術と知識の研鑽はもとより、会員相互の情報交換を目的として発足し、今年で5年目を迎えます。

本年度も、これまで開催してきました研修会の実績を論文集として残していくべく、「森ノ宮柔道整復卒後研修会 論文集 No.2」を発刊いたします。会員による論文に加え、19年度卒業論文から特に興味を引く2題を掲載しております。

有益情報満載の論文集を多くの方にご活用いただければと考えております。論文集希望、入会についてのお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

☆問い合わせ先

担当：教務部 柔道整復学科 外林、伊黒

☎ 06-6976-6889

E-mail : sotuken@morinomiya.ac.jp



森ノ宮柔道整復卒後研修会主催

「第1回 森ノ宮柔道整復学術集会」 5月11日、開催決定！

柔道整復学科が設立されて8年が経過します。卒業生を中心に発足した森ノ宮柔道整復卒後研修会を開催してきましたが、これまで積み重ねてきた成果を学術集会という形で発展させ、学術の向上と情報交換の場の拡大を目指して、「第1回 森ノ宮柔道整復学術集会」を実施することになりました。

会員の発表に加え、教育講演も予定しており、森ノ宮医療学園専門学校と卒業生、さらに在校生との情報交換の場としてはもちろん、卒業生の研究内容や、貴重な臨床経験を聞くことのできるよい機会です。また、本集会を通じて、森ノ宮医療学園の発展、柔道整復業界全体の発展に貢献して行きたいと考えております。卒業生に限らず、在校生からも多くの方の参加をお待ちしております。

開催日程：2008年5月11日(日)

時 間：11:00～15:00

会 場：森ノ宮医療学園専門学校7階講堂

参加費：会員・卒業生1,000円、一般3,000円、学生無料

◆教育講演

「TFCC（三角線維軟骨複合体）損傷（仮）」

関目病院リハビリテーション科リハビリ担当主任 大森淳次先生

「後療法について考える（仮）」

森ノ宮医療学園専門学校 柔道整復学科 川畑浩久先生

☆問い合わせ先 担当：教務部 柔道整復学科伊黒、外林

☎06-6976-6889 E-mail:sotuken@morinomiya.ac.jp

東洋療法学校協会第29回学術大会で小林英恵さんが発表

去る10月11日、(社)東洋療法学校協会 第29回学術大会（メインテーマ：統合医療—新たな医療を目指して—）が吹田メイシアター（大阪・吹田市）で行われ、森ノ宮医療学園専門学校鍼灸学科夜間部3年生 小林英恵さんが研究成果を発表しました。

タイトルは「鍼灸施術が月経困難症や月経周期に及ぼす影響—スポーツ選手の基礎体温を指標として—」。小林さんはこの発表に向けて、松下美穂先生の指導の元、女性アスリートにとって避けて通れない月経と鍼灸の関係を明らかにしようと、スポーツ選手を対象にデータを収集するなど研究を続けてきました。その成果に、本学生はもとより他校の学生も熱心に聞き入っていました。



だんじり祭りだ！いざ出陣！

10月7日、岸和田だんじりを前にはっぴとばっち、地下足袋に鉢巻き姿の中村允之先生（大学准教授・専門学校講師／左）、外林大輔先生（専門学校柔道整復学科教員／右）。外林先生はテーピングでもバックアップ！



治療室におすすめBOOK

森ノ宮医療学園専門学校事務局 伏井奈穂子

■行った気になる、京都本！

『京都地図本』／京阪神エルマガジン社

おそらく、昨年秋の観光シーズンに最も売れた京都本ではないでしょうか。書店で平積みされているのを、ご覧になられた方も多いはず。

寺社仏閣はもちろん、京都ならではのおしゃれなお店から、知人ぞ知るマニアなショップまで、地図形式で紹介されていて、京都を散策するにはもってこいの1冊です。

お土産のページには、老舗の選りすぐりの一品や和柄の小物など、心くすぐるアイテムが満載。

歴史あふれる古都が、ディズニーランド顔負けのテーマパークに思えてくるガイドブック。カラフルなページを、見ているだけでも楽しめます。



治療室におすすめCD

森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科教授 永瀬佳孝

■長ければ長いほど…

『ガウディ』アラン・パーソンズ・プロジェクト／BMG ビクター



「 ε - δ 論法、やっとわかった。これから説明する。」

関西大学教授のY君が大学院博士課程の1年生の時に電話をしてきて、いきなり ε - δ 論法の説明を始めた。Y君は予備校からの友人で、彼は数学系の大学院に、私は歯学部に入り直したのだが、同じ大学の大学院と歯学部だった。さて、理工系の学生は学部の1年生の時に ε - δ 論法を講義で教わる。すぐにわかる学生はほとんどいないが、別にわからなくても数学を使うのに不便はないので、そのうちに忘れてしまう。大学院生の時、Y君は朝から晩まで数学漬けであった。数学者が6年もかかるというのは変に思うかもしれない。しかし、学問の完成には長い時間がかかり、急いでもろくなものができない。「わからなければ、とりあえず頭の中に飼っておきなさい。そのうちになんとかなるから。」とよく言われたものである。

サグラダ・ファミリアは1882年に着工され、翌年からアントニオ・ガウディが建築を引き継いだ。完成は2026年頃になるそうである。建設開始から長い年月が経っているため、建築と並行して修復も行われている。なぜそんなに長くかかるのかと不思議に思うが、長ければ長いほど完成までの道のりを多くの人が楽しむことができる。わからなくても使えるだけのものとは異なるのである。

アラン・パーソンズ・プロジェクトの『ガウディ』を聴いて、学生の頃にY君と役に立たないことを話したことを思い出した。

森ノ宮医療学園出版部 新刊ご案内

季刊誌「鍼灸 Osaka」88号

特集「咳嗽」 B5判 105頁
2,039円(税込・送料別)



次号予告 5月上旬発行予定
89号 特集「美容鍼灸」(仮題)

定期購読受付中！購読料 7340円(税・送料込)

近刊予定

◎『ポケット鍼灸臨床ガイド』(坂本 歩監修)

鍼灸治療を始める前にまずは目の前の患者さんをしっかり把握する必要があります。患者さんとのコミュニケーションから理学検査、東洋医学的診察、リスクマネジメントにいたるまで、臨床技能の要点をコンパクトにまとめました。学生さんから有資格者まで幅広く活用できます。

◎『ツボ本』(谷田 伸治著)

谷田伸治先生が『毎日ライフ』に連載されていた「家庭でできるかんたんツボ療法」に加筆、約70のツボの由来、探し方、活用法など、アマチュアはもちろんプロが読んでも面白い1冊となりました。

※定期購読または書籍購入5000円以上の方へ出版部オリジナルグッズをプレゼントします。

ご注文・お問い合わせ出版部まで

Tel : 06-6976-6889 Fax : 06-6973-3133

ホームページからもオンライン注文できます。

<http://www.morinomiya.ac.jp/book.php>

夜間診療始めました！

みどりの風 鍼灸センター 鍼灸師 塩澤智万
(森ノ宮医療学園専門学校附属施術所)

森ノ宮医療学園鍼灸室は昨年10月22日より夜間診療を始めました。夜間診療日は月～水・金曜日の週4日で、鍼灸師2名がシフトを組んで治療にあたっています。実際には夜8時半頃まで治療をしていますので、受診しやすくなり、お勤めや学校帰りの方、本校の学生さんなど、多くの方が治療を受けにいられています。

また今回、親しみやすいように「みどりの風 鍼灸センター」と新たに通称名をつけました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

受付時間	曜日	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 11:00		◎	◎	◎	◎	◎	◎
午後 1:30 ~ 4:30		◎	◎	◎		◎	
夜間 4:30 ~ 7:30		◎	◎	◎		◎	

※内科・リハビリ科は従来通り3時までの受付(月～水・金)です。

訃 報

鍼灸学科昼間部3年生 岡谷謙一さん

鍼灸学科18期昼間部・柔道整復学科2期夜間部卒業 高桑康司さん

岡谷謙一さんは卒業を間近にした1月19日に、高桑康司さんは2月5日に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

※学園事務局へのご連絡いただいた方を掲載しています。

森ノ宮医療大学 施設・設備拡充のための寄付金申込者ご芳名

平成 19 年 12 月～平成 20 年 2 月 29 日 お申込み分（敬称略）

個人

◆ 300万円

森 俊豪 （役員）

◆ 200万円

田中 邦雄 （役員）

安田 実 （役員）

安雲 和四郎 （役員）

◆ 150万円

三木 完二 （役員）

◆ 100万円

清水 巖 （役員）

下條 喜信 （役員）

竹下 輝也 （大阪・堺市）

中村 辰三 （教職員）

花谷 幸比古 （役員）

廣橋 賢次 （役員）

◆ 50万円

井上 悦子 （教職員）

小林 由幸 （役員）

首藤 傳明 （大分市）

日根野 文三 （役員）

三木 隆子 （教職員）

◆ 30万円

尾崎 朋文 （教職員）

中田 敬吾 （役員）

◆ 25万円

金尾 顕郎 （教職員）

山下 仁 （教職員）

◆ 20万円

青木 元邦 （教職員）

葛原 博記 （専・卒業生）

◆ 10万円

上田 喜久子 （専・卒業生）

王 栄 （専・卒業生）

岡本 榮吉 （専・在校生）

奥田 功 （教職員）

北村 光晶 （専・卒業生）

倉林 譲 （教職員）

小島 賢久 （教職員）

坂本 豊次 （教職員）

澤田 規 （教職員）

清水 尚道 （教職員）

鈴木 紘 （教職員）

竹下 イキコ （教職員）

田代 豊治 （専・卒業生）

田畑 京美 （教職員）

築山 房乃 （教職員）

浜田 暁 （教職員）

房前 素徳 （教職員）

前田 薫 （教職員）

松林 康子 （教職員）

萬代 愼逸 （教職員）

水谷 隆文 （教職員）

宮本 忠吉 （教職員）

吉川 徹 （教職員）

米沢 豊彦 （専・卒業生）

渡辺 真二 （専・卒業生）

（匿名） 4 名

◆ 5万円

赤星 光彦 （教職員）

上田 喜敏 （教職員）

前田 登貴子 （大阪市）

（匿名） 2 名

◆ 3万円

岡田 敏幸 （専・在校生）

小河 勝美 （教職員）

久保 茂正 （専・卒業生）

坂口 コタカ （専・卒業生）

中島 茂 （教職員）

松本 弘巳 （横浜市）

（匿名） 1 名

◆ 2万円

于 思 （教職員）

角田 美恵子 （専・卒業生）

谷 隆博 （専・卒業生）

成田 真一 （教職員）

仁科 賀津也 （大・在校生）

長門谷 順二 （大阪市）

松本 政己 （専・卒業生）

八木 禧尚 （専・卒業生）

矢根 陽介 （専・卒業生）

（匿名） 3 名

◆ 1万円

赤松 京子 （教職員）

赤松 祐光 （専・卒業生）

浅岡 節子 （専・卒業生）

伊吹 修 （大・保護者）

上垣 恵子 （教職員）

上田 幸資 （専・卒業生）

牛田 恭司 （専・卒業生）

大牧 比佐子 （大阪市）

織田 浩子 （教職員）

片山 眞之 （教職員）

兼井 孝政 （大・保護者）

金山 周二 （大・保護者）

川口 雪子 （大・保護者）

北岡 章文 （専・卒業生）

木下 修一 （大・保護者）

栗林 彰彦 （専・卒業生）

桑原 健一 （専・卒業生）

河野 紘 （専・卒業生）

小林 清 （専・卒業生）

駒井 山士 （専・卒業生）

小山 四郎 （大・保護者）

近藤 紀子 （専・卒業生）

近藤 美由紀 （専・卒業生）

御井 和子 （専・卒業生）

斉藤 健 （大・保護者）

坂出 祥伸 （教職員）

佐藤 慶明 （専・卒業生）

塩澤 智万 （教職員）

静波 豊祥 （専・卒業生）

静波 芳君 （専・卒業生）

品川 知子 （専・卒業生）

清水 昭嗣 （大・保護者）

鈴木 淳子 （大阪・堺市）

叢 学光 （専・卒業生）

曾根田 小百合（大・在校生）

高岡 覚 （大・保護者）

檀上 隆昭 （専・卒業生）

土田 昌幸 （大・保護者）

東郷 紀一 （専・卒業生）

富本 彬夫 （教職員）

中岡 里江 （教職員）

中尾 優希 （大・保護者）

中島 章光 （大・保護者）

長田 信二 （大・保護者）

登川 克也 （専・卒業生）

羽田 正 （大・保護者）

伏井 奈穂子 （教職員）

伏山 和夫 （専・卒業生）

伏山 忠雄 （専・保護者）

藤川 直孝 （教職員）

細澤 由美子 （教職員）

堀 靖子 （専・卒業生）

堀内 秀郎 （専・卒業生）

堀岡 由寛 （専・卒業生）

松本 好博 （専・卒業生）

南川 真一 （専・卒業生）

宮浦 義夫 （教職員）

矢野 次雄 （専・卒業生）

山縣 美美子 （専・卒業生）

山路 真理子 （教職員）

山本 聖 （専・卒業生）

吉川 尚 （専・卒業生）

（匿名） 8 名

法人・団体

◆ 50 万円

株式会社医道の日本社

◆ 20 万円

株式会社神陵文庫

ハイアット・リージェンシー・オオサカ（谷口俊司）

◆ 10 万円

株式会社オリエント出版社（野瀬眞）

◆ 5万円

株式会社大黒（堀井孝一）

カゲイメディカル（影井繁一）

京都医療用酸素株式会社

ニホンサンテック株式会社（金子秀樹）

北港観光バス株式会社

有限会社前田針灸接骨院（前田為康）

○ご芳名は、個人・法人に区分し、金額ごとに五十音順にて掲載いたしました。また、2 回以上のお申込みの場合は合計金額での記載とさせていただきます。

○個人のご寄付につきましては、森ノ宮医療学園の理事・監事を（役員）、非常勤講師を含む森ノ宮医療大学ならびに森ノ宮医療学園専門学校教員・同職員を（教職員）、森ノ宮医療大学ならびに森ノ宮医療学園専門学校在校生・卒業生・保護者の場合は各々（専・卒業生）のように頭に専又は大を付して表示しました。

○法人のご寄付につきましては、申込書に記載の法人名称ならびに代表者名を記載しました。

<http://www.morinomiya.ac.jp>



みなさまの治療院（勤務先）を学園ホームページ《治療院をさがす》にリンクしませんか？

本学園ホームページでは、校友会のコンテンツもご用意しております。引越し・転勤・婚姻等による登録内容の変更や、校友会報バックナンバーのダウンロード、会員の皆様の治療院の検索等がインターネットで簡単にご利用いただけます。

●住所変更等は、登録変更フォームより簡単にできます。

http://www.morinomiya.ac.jp/member_change.php

●校友会報は、インターネットでもご覧になれます。

●卒業生が経営している治療院をインターネットで検索することができます。掲載をご希望の方は、森ノ宮医療学園校友会事務局 koyukai@morinomiya.ac.jp までご連絡ください。

学校法人
森ノ宮医療学園
平成18年度
決算報告概要

注）表中、（＊印）科目は百万円未満の科目をまとめてあります。

財務資料の内、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表を千円単位で示してあります。
大学設置申請に向けて、17年度は土地を購入。18年度は大学校舎等建業に約13億円要しましたのが大きな変化です。
帰属収入21億4223万円、消費支出10億2734万円、帰属収支差額は11億1489万円であり、16年度より4億861万円の増加でありました。

資金収支計算書 平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 3 1 日まで

《資金収入の部》 (単位：千円)		
科 目	予 算	決 算
学生生徒納付金収入	1,464,865	1,478,003
手数料収入	20,200	39,420
寄付金収入	20,000	21,734
補助金収入	548,624	568,361
資金運用収入	3,000	6,895
事業収入	5,092	8,396
雑収入	2,400	19,423
前受金収入	1,042,825	1,028,484
その他の収入	32,638	270,866
資金収入調整勘定	-866,461	-1,426,434
前年度繰越支払資金	2,737,549	2,748,449
収入の部合計	5,010,731	4,763,598

《資金支出の部》 (単位：千円)		
科 目	予 算	決 算
人件費支出	597,300	545,004
教員人件費支出	394,000	371,261
職員人件費支出	127,300	109,717
役員報酬支出	12,500	10,470
退職金支出	10,000	655
法定福利費支出	38,000	37,606
交通費支出	15,500	15,295
教育研究経費支出	238,901	196,795
消耗品費支出	37,080	37,164
教材費支出	43,400	42,103
光熱水費支出	15,544	13,192
行事費支出	13,400	10,482
旅費交通費支出	3,240	3,363
保守管理費支出	18,824	16,385
* 通信費、損保料、業務委託費支出	3,243	2,967
福利費支出	10,900	10,673
研究費支出	24,688	8,443
印刷製本費支出	3,500	2,105
修繕費支出	12,340	2,888
賃借料支出	2,292	1,753
諸会費支出	2,700	2,692
実習費支出	47,750	42,584
管理経費支出	193,072	209,802
消耗品費支出	6,420	4,918
光熱水費支出	1,454	1,353
旅費交通費支出	8,000	2,658
福利費支出	8,080	5,296
通信費支出	3,800	3,734
研究費支出	3,000	887
* 修繕費、損保料、賃貸料支出	1,980	1,709
公租公課支出	5,100	4,922
広報費支出	92,500	125,459
会議費支出	1,000	257
報酬委託手数料支出	13,560	13,015
渉外費支出	2,570	1,736
調査費支出	38,000	37,544
保守管理費支出	1,708	853
諸会費支出	1,500	1,339
雑費支出	4,400	4,123
施設関係支出	1,400,500	1,387,925
建物支出	1,360,500	1,285,805
構築物支出	40,000	102,120
設備関係支出	273,034	239,328
教育研究用機器備品支出	163,138	104,809
その他の機器備品支出	84,896	111,386
図書支出	25,000	23,133
その他の支出（前払金支払等）	41,837	56,890
資金支出調整勘定（前期末前払金等）	-101,258	-747,435
次年度繰越支払資金	2,367,346	2,875,290
支出の部合計	5,010,731	4,763,598

消費収支計算書 平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 3 1 日まで

《消費収入の部》 (単位：千円)		
科 目	予 算	決 算
学生生徒納付金から雑収入ま		
では資金収入項目と同金額	2,061,781	2,122,809
雑収入	2,400	19,423
帰属収入合計	2,064,181	2,142,232
基本金組入額合計	-1,705,234	-1,691,800
収入の部合計	358,947	450,432

《消費支出の部》 (単位：千円)		
科 目	予 算	決 算
人 件 費	597,300	557,888
資金支出額に同じ	597,300	545,004
退職金（給与引当金繰入額）	0	12,884
教育研究経費	286,901	235,365
資金支出額に同じ	238,901	196,795
減価償却額	48,000	40,288
管理経費	203,072	234,086
資金支出額に同じ	193,072	209,801
減価償却額	10,000	11,243
消費支出の部合計	1,087,273	1,027,339
当年度消費収入超過額	-728,326	-576,907
合 計	358,947	450,432
前年度繰越消費収入超過額	1,492,043	1,492,043
翌年度繰越消費収入超過額	763,717	915,136

貸借対照表 平成 19 年 3 月 31 日

《資産の部》 (単位：千円)		
科 目	本年度末	前年度末
固定資産	5,777,534	4,403,531
有形固定資産	5,747,134	4,164,888
土地	2,647,152	2,647,152
建物	2,584,617	1,331,882
構築物	116,738	16,857
教育研究用機器備品	111,441	12,078
その他の機器備品	131,150	24,014
図書	156,037	132,904
その他の固定資産	30,400	238,643
収益事業元入金	30,000	48,493
保証金	400	100,150
前払金	0	90,000
流動資産	3,452,612	2,756,565
現金預金	2,875,290	2,737,549
未収入金	559,973	2,059
貯蔵品	5,642	0
前払金	153	0
立替金	11,555	16,957
立替金	243	550
出版部	11,312	6,323
診療所	0	10,085
資産の部合計	9,230,146	7,160,096

科 目	本年度末	前年度末
固定負債	134,280	109,950
退職給与引当金	134,280	109,950
流動負債	1,822,167	891,340
未払金	743,714	11,258
前受金	1,028,484	866,461
授業料前受金	455,061	389,800
入学金前受金	245,360	198,920
教材費前受金	92,298	86,125
実験実習費前受金	235,765	191,616
預り金	49,969	13,621
負債の部合計	1,956,447	1,001,290

《基本金の部》		
科 目	本年度末	前年度末
第 1 号基本金	6,298,563	4,612,763
第 4 号基本金	60,000	54,000
基本金の部合計	6,358,563	4,666,763

《消費収支差額の部》		
科 目	本年度末	前年度末
翌年度繰越消費収入超過額	915,136	1,492,043
消費収支差額の部合計	915,136	1,492,043
負債・基本金・収支差額の部合計	9,230,146	7,160,096